



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 リンテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 柴野 洋一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	189,134	1.4	14,646	7.4	14,605	5.3	10,175	1.1
30年3月期第3四半期	186,523	23.4	15,819	22.2	15,414	26.8	10,065	16.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 8,326百万円 (14.3%) 30年3月期第3四半期 9,709百万円 (333.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	140.99	140.77
30年3月期第3四半期	139.51	139.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	288,329	189,598	65.5
30年3月期	292,733	186,420	63.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 188,918百万円 30年3月期 185,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		33.00		33.00	66.00
31年3月期		39.00			
31年3月期(予想)				39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	0.4	18,000	10.4	17,800	3.2	13,000	15.5	180.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	76,576,340 株	30年3月期	76,564,240 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	4,385,802 株	30年3月期	4,410,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	72,173,536 株	30年3月期3Q	72,151,620 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成30年11月9日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は189,134百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は販売数量の増加や米国子会社の収益改善などの増益要因があったものの、原燃料価格の上昇や固定費増加などをカバーするまでには至らず14,646百万円（同7.4%減）、経常利益は14,605百万円（同5.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間に米国子会社において事業構造改善引当金繰入額972百万円を計上したこともあり10,175百万円（同1.1%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は91,690百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は米国子会社の収益改善などもあり3,191百万円（同37.9%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品は、国内では宅配・通販関連や化粧品などのアイキャッチラベルの需要は堅調であったものの、豪雨や大型の台風などの影響を受け食品関連が低調に推移しました。海外ではアセアン地域において堅調に推移しましたが、米国において円高による目減り影響を受けました。この結果、当事業部門の売上高は64,579百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(産業工材事業部門)

国内では通販向け装置が堅調に推移しました。海外では二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において順調であったほか、ウインドフィルムも堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は27,110百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は68,987百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は9,155百万円（同3.2%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(アドバンストマテリアルズ事業部門)

半導体関連粘着テープは、市場の生産調整の影響を受け減少となりましたが、半導体関連装置は、設備投資抑制の影響を受けたものの前年同期並みとなりました。積層セラミックコンデンサ関連テープについては、スマートフォン、車載、サーバー用などの需要が好調であったことにより増加しました。この結果、当事業部門の売上高は39,989百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

(オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品は、テレビの大型化により需要が順調であったほか、スマートフォン用などの中小型向けも堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は28,997百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は28,457百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益はパルプを中心とした原燃料価格上昇の影響を受け2,241百万円（同43.3%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売上げの概況は次のとおりです。

(洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みであったものの、耐油耐水紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は12,214百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(加工材事業部門)

光学関連製品用剥離フィルムや炭素繊維複合材料用工程紙は順調であったものの、一般粘着製品用、電子材料用剥離紙が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は16,242百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は288,329百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,403百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の減少	△2,462百万円
・「たな卸資産」の増加	1,246百万円
・「のれん」の減少	△2,386百万円

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は98,731百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,581百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「未払法人税等」の減少	△1,912百万円
・「長期借入金」の減少	△2,772百万円
・「流動負債その他」の減少	△3,231百万円

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は189,598百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,177百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	4,979百万円
・「為替換算調整勘定」の減少	△972百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績については、当第4四半期において、電子・光学関連製品の需要低迷が予想されることなどから、平成30年11月9日に公表いたしました平成31年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成31年3月期通期連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	252,000	20,000	19,800	14,500
今回修正予想 (B)	250,000	18,000	17,800	13,000
増減額 (B - A)	△2,000	△2,000	△2,000	△1,500
増減率 (%)	△0.8	△10.0	△10.1	△10.3
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	249,030	20,095	18,389	11,257

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,614	56,152
受取手形及び売掛金	72,590	72,636
たな卸資産	38,506	39,752
その他	3,991	4,289
貸倒引当金	△109	△120
流動資産合計	173,593	172,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,342	31,545
機械装置及び運搬具（純額）	24,962	25,568
土地	11,083	11,162
建設仮勘定	5,087	5,247
その他（純額）	1,859	1,828
有形固定資産合計	75,336	75,352
無形固定資産		
のれん	29,189	26,802
その他	3,285	2,893
無形固定資産合計	32,474	29,696
投資その他の資産		
その他	11,426	10,656
貸倒引当金	△98	△86
投資その他の資産合計	11,328	10,569
固定資産合計	119,139	115,619
資産合計	292,733	288,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,678	53,956
短期借入金	2,351	2,955
1年内返済予定の長期借入金	2,986	3,038
未払法人税等	2,889	977
役員賞与引当金	89	58
事業構造改善引当金	39	—
その他	14,814	11,582
流動負債合計	77,849	72,569
固定負債		
長期借入金	14,395	11,623
環境対策引当金	132	112
退職給付に係る負債	13,006	13,881
その他	930	545
固定負債合計	28,463	26,162
負債合計	106,312	98,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,220
資本剰余金	26,829	26,847
利益剰余金	137,743	142,722
自己株式	△7,711	△7,668
株主資本合計	180,062	185,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657	286
為替換算調整勘定	8,139	7,167
退職給付に係る調整累計額	△3,157	△3,657
その他の包括利益累計額合計	5,639	3,796
新株予約権	214	181
非支配株主持分	503	497
純資産合計	186,420	189,598
負債純資産合計	292,733	288,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	186,523	189,134
売上原価	138,702	141,963
売上総利益	47,821	47,171
販売費及び一般管理費	32,001	32,524
営業利益	15,819	14,646
営業外収益		
受取利息	164	201
受取配当金	271	256
固定資産売却益	18	6
為替差益	—	179
受取保険金	9	66
その他	231	282
営業外収益合計	696	992
営業外費用		
支払利息	169	179
固定資産除却損	348	667
為替差損	387	—
支払補償費	54	31
その他	141	155
営業外費用合計	1,101	1,034
経常利益	15,414	14,605
特別利益		
投資有価証券売却益	343	—
特別利益合計	343	—
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	972	—
特別損失合計	972	—
税金等調整前四半期純利益	14,785	14,605
法人税、住民税及び事業税	4,306	3,765
法人税等調整額	494	674
法人税等合計	4,800	4,439
四半期純利益	9,984	10,165
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△81	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,065	10,175

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	9,984	10,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△370
為替換算調整勘定	△296	△972
退職給付に係る調整額	86	△496
その他の包括利益合計	△274	△1,839
四半期包括利益	9,709	8,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,801	8,332
非支配株主に係る四半期包括利益	△91	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	91,125	66,733	28,664	186,523	—	186,523
セグメント間の 内部売上高又は振替高	41	75	11,583	11,700	△11,700	—
計	91,166	66,808	40,248	198,224	△11,700	186,523
セグメント利益	2,315	9,455	3,953	15,724	94	15,819

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	91,690	68,987	28,457	189,134	—	189,134
セグメント間の 内部売上高又は振替高	46	36	12,444	12,527	△12,527	—
計	91,736	69,024	40,901	201,662	△12,527	189,134
セグメント利益	3,191	9,155	2,241	14,588	58	14,646

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。